

# 牛久市議会だより

第125号

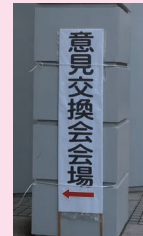
2026年(令和8年)  
1月31日発行

第4回定例会（11月28日～12月15日）第3回臨時会（12月26日）

## 市民と議員の 意見交換会を 開催しました

牛久市議会では、市民に開かれた議会を目指し、市政の課題について市民と議員が意見を交換する場として意見交換会を開催しています。今年度は11月8日に開催し、中央生涯学習センター24名、三日月橋生涯学習センター11名、奥野生涯学習センター5名の方にご参加いただきました。

### 中央生涯学習センター



道路のこと

### 公園のこと



### 三日月橋生涯学習センター



### うしタクのこと



### 牛久シャトー のこと



### 防災のこと



### 図書館のこと



通学路のこと



### 奥野生涯学習センター



奥野地区のこと

### かっぱ号 のこと



### ライドシェアのこと

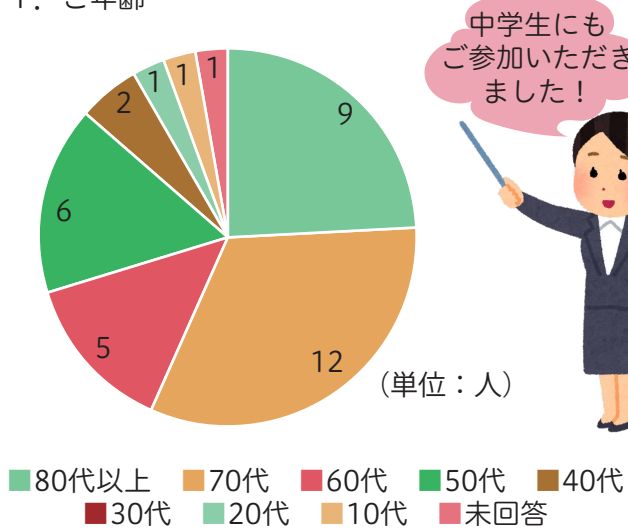
#### 目次

P2～特集「意見交換会」 P4～13一般質問 P14議案の審議結果・臨時会より  
P15常任委員会審査報告 P16委員会視察報告

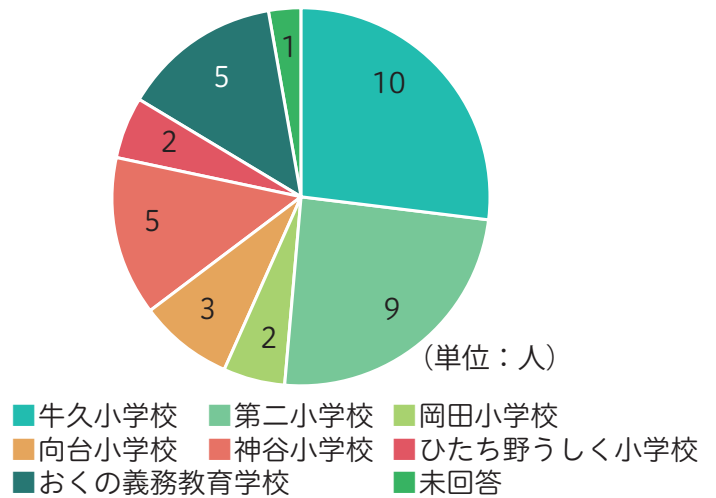


# 参加して良かった？アンケートの結果

1. ご年齢

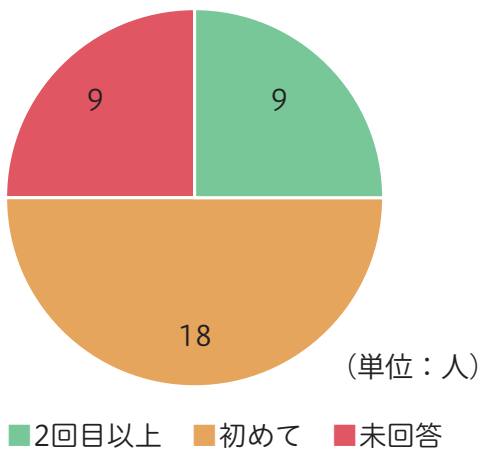


2. お住まい（小学校区）

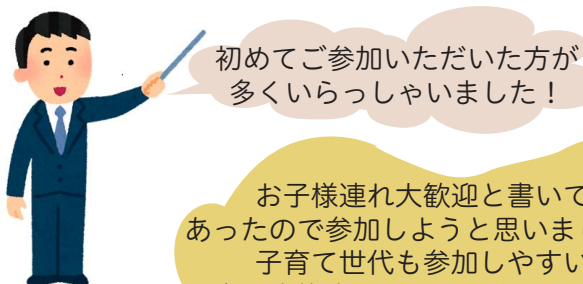
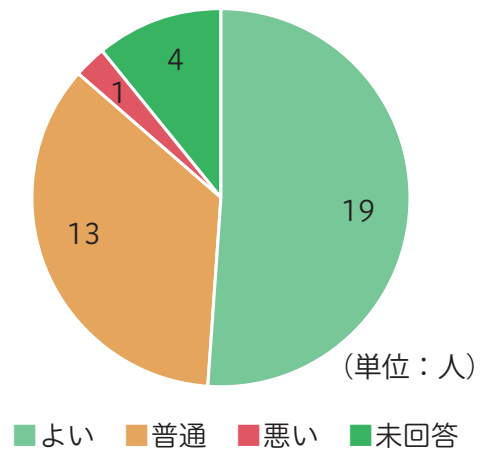


※中根小学校区の方のご参加はなし

3. ご参加いただいた回数



4. 意見交換会の内容



お子様連れ大歓迎と書いてあったので参加しようと思いました。子育て世代も参加しやすい意見交換会をお願いしたいです。

初めての参加でした。とても良かったです。参加する人が少なすぎます。参加者のいろいろな意見が聞けましたが、議員の意見がたくさん聞きたかったです。

一つの議題、一人の発言に時間を取り過ぎていました。

もっと「話し合い」ができる場があればと思います。

普段、行政区などの関わりや市のサービスを利用する機会が少ないので、参加者の意見を聞いたのは刺激になりました。議会でどんなことが議題になっているのか、話題提供があると議論しやすいと思います。

その他、意見交換会の実施方法について、「時間が短い」というご意見や「マイクを使用して欲しい」とのご意見を多くいただきました。来年度の意見交換会に皆様からいただいたご意見を反映させられるよう努めてまいります。

# 聞けてよかった!言えてよかった! 82の声

## 公共交通 かっぱ号



- 本数が少なく使いにくい。本数を増やせば、利用が増えるのでは。
- 反対周りを走るルートが欲しい。
- 頻繁に利用している。今後利用者は増えると思うので、減便しないで欲しい。
- 奥野地区にかっぱ号を朝と夕方だけでも走らせられないか。稲敷エリア広域バスとの接続など整備を検討して欲しい。
- 奥野地区の運行経路の拡大を検討して欲しい。通院や買い物に使えるように、病院や大型スーパーの近くなどに停留所を作って欲しい。

## 公共交通 うしタク ライドシェア その他



### うしタク

- 運転手が不足していて予約が取りにくい。利用料金は他市に比べて高い。

### ライドシェア

- ライドシェアは市街化調整区域に限定しており、利用者が少ない。区域を広げて利用者を増やしてみてもどうか。
- ライドシェアよりかっぱ号の便数の増加やルートの追加をして欲しい。

### その他

- 「車がなくても過ごせるまち」を目指してはどうか。

## 道路の安全



- 通学路に歩道の設置を。
- 歩道の段差の解消を。
- カーブミラーの設置を。
- 道路のひび割れや陥没箇所の修繕を。
- 自転車専用道路の設置を。
- 道路の樹木や雑草の管理を。

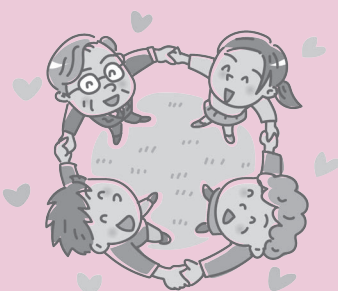
## まちづくり こんなものがあたらいいな…



- 酷暑により学校も含めて子どもが外で遊べないことが多くなった。プールや魅力的な公園など検討して欲しい。
- 喫茶店や談話コーナーなどが設置された、進化した図書館を作りたい。
- 牛久シャトーを人が集まって楽しい場所にするために、市民限定・シャトー使用限定でクーポンを発行するのはどうか。
- 牛久沼や筑波山を見ながら走るサイクリングロードで地域の活性化を。



## 福祉・教育など



- 児童生徒のよりよい教育に繋げるために、教える側の非常勤講師の給料の見直しをして欲しい。
- 敬老の日のお祝いのギフトカードについて、郵送料も含めてもったいないので、他の事業に使って欲しい。
- 人工内耳の電池と充電電池の補助について検討して欲しい。

掲載しているのは  
ご意見の一部です。  
その他いただいた  
ご意見は牛久市議  
会ホームページに  
掲載しています。





## 石原 幸雄 議員 ゴミ屋敷への対処は



答弁) 行政の介入が可能な条例制定も手法の一つ

質問 うしタクの市外への送迎について、竜ヶ崎市の総合

うしタクの送迎先について



質問 近年、本市を含む多くの自治体でゴミが野積みで放置され悪臭が発生する等、近隣住民が困惑しているゴミ屋敷が見受けられるが、住民から対処要請があった場合、全国には不良な生活環境を解消する為との福祉的な側面から行政の介入を可能とする条例を制定している31の自治体がある。故に本市においてもゴミ屋敷への対処条例の制定を検討すべきと考えるがどうか。

答弁 (環境経済部次長) 条例制定も対処手法の一つと考えている。

旧奥野小校舎跡地の利活用について

質問 東部地域住民から当該地に農産物の直売所等の設置を求める声が多いが如何か又、当該地に何等かの集客施設が設置された場合、当該地の直近を通過する竜ヶ崎阿見線バイパスの往来車両を当該地に呼び込む為の進入路の整備が不可欠と考えるがどうか。

答弁 (経営企画部次長) 直売所等を含めて年度内を目途に利活用策の方向性を示す。進入路は検討していく。

答弁 (経営企画部次長) 阿見町の総合病院への送迎の実施を前提に関係機関と協議を続ける。



## 柳井 哲也 議員 何故不登校生を大削減できたのか



答弁) 毎日子どもの心理状態を把握し声かけした為

(愛称) **教育関連相談受付電話 かっぱコール**

「かっぱコール」は、保護者の皆さまからの相談をお受けする専用電話です

いろいろな悩みや思い、相談がある

かっぱコールにお電話ください  
**☎898-9381**

【受付時間】  
月～金曜日 午前9時～午後5時  
※土・日・祝日、12月29日～1月3日を除く。

牛久市教育委員会では、学校だけでは解決が困難な問題の相談窓口として「かっぱコール」を開設します。保護者がどこに連絡すればよいかわからない場合や、学校へ直接相談しにくいことなど、より気軽に相談しやすい環境をつくれます。また、教職員と保護者が協力したり、早い段階で専門機関へ接続したりするなど課題の早期解決に取り組めます。

連絡や児童生徒に関することは従来どおり学校で対応します。学校内で解決できない問題は、教育委員会と連携して対応します。

【問い合わせ】教育支援課 ☎内線3311、3314

質問 令和6年度の全国の不登校生は35万人と最多を記録しているが牛久市は令和4年度の230名をピークに3ケ年で52名減少している。何故なのか。

答弁 (教育長) 先生がクラス全員と月に一回、一人5分程度、個別に話す機会をつくっている。また一人一台端末を活用し、児童生徒の毎日の心の状態をお天気で入力して貰い、教師が児童生徒の心理状態や体調の変化を把握し声かけするなど、不登校等の未然防止、早期発見に向けて、組

市制施行40周年記念式典のイベントは

組織的かつ積極的に支援している。更に昨年9月より児童生徒や保護者の悩みや不安を解消する目的で「かっぱコール」を開設すると共に、令和5年度に牛久市不登校保護者の会を立ち上げ、保護者同士が悩みを共有する機会を年2回実施している。これらが不登校生の減少につながったと考えている。

質問 功労者等の顕彰や記念誌の発行はどうか。

答弁 (市長) 40年を振り返る写真を市民の皆様から募集し、フォトコンテストを開催する。また観光協会のキャラクターである「かっぱのキューちゃん」を市の公式キャラクターとして、新たに小中高生からデザインを募集し、キャラクターをアップデイトする、等の式典を来る6月に企画している。

# 新事業を創造する公民連携の仕組みを

塚原 正彦 議員



答弁) 市民と行政の新しい共創の可能性をさぐる

質問

近年、多くの自治体で公民連携、共創という視点からまちづくりが行われるようになった。市民、民間から新しい事業提案をしてもらい、

公と民が話しあい、プロジェクトを創りあげる「共創フロント」を設置する自治体では、

新しい視点の住民参加が実現し、持続的な社会サービスがうまれている。

牛久市は、市庁舎、消防署など老朽化問題に加え、事業を委託している団体の高齢化、

デジタル化の遅れなど、見直しが求められている施設

補修、運営計画は少なくない。

それらの課題解決にあたって、官が主導し、民間に業務を渡す古いスタイルを抜本的に見直し、

市民や民間事業者との対話とおし、課題解決に挑戦することができるとする制度設計の着手を提案するが考えを伺う。

答弁 (市長) 官民が知恵と資金を分担するプロジェクトは、自治体経営の未来モデルとして意義のある取り組みと考える。PPP、PFI手法の導入の優先的規定の策定にともなう、先進事例を調査し、市民と行政の新たな共創の可能性について幅広く研究をすすめていく。

## 公と民が知恵と資金をだしあい事業を創造する新しいプログラム



横浜市 共創フロント

民間事業者が公民連携にかかる相談・提案をする窓口として横浜市は、「共創フロント」を設置しました。ここでは、民間事業者が関心を持ったアイデアや資金を社会サービスにいかすための対話が行われます。「こどもログハウスの中や外を活用した楽しく遊び、学べるプログラムの提案」「大学と地域社会が連携した地域意識のネーミングライツ」など具体事業が誕生し、富を地域で循環させることに成功している。



小松市 未来型図書館づくり

2030年に事業開始する未来型図書館を「変わり続ける未来のための学びと交流拠点」と定義し、公と民が知恵と資金をだし事業をつくりあげる社会実験をすすめている。未来図書館を創設するための市民、事業者大学参加のワークショップ「こまつのリビングラボ」を組織化し、新しい学びのプログラムを次々に展開することで、生活者が自分を磨きあげることに価値を感じる取り組みがまちを豊かにしている。

公民共創を成功させるためには公と民が対話し、学びあいながら人を育て、イノベーションを育む未来の創造装置が必要です。

# 空家空地バンク利用者への支援は

鈴木 勝利 議員



答弁) 調査、研究していく

質問

ひたち野地区の宅地需要は。

答弁 (建設部長) 現在供給できる宅地がなく、周辺他市町村に宅地を求める動きが広がっている。JR常磐線沿線の近隣地区より地価が高く、

上昇率も非常に大きく、高い宅地需要を維持している。

質問 東端穴土地地区画整理事業地に定住促進住宅を整備してはどうか。

答弁 教育施設や公共交通等への利便性が高く、需要が十分に見込まれることから、市独自の住宅支援事業の予定はない。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

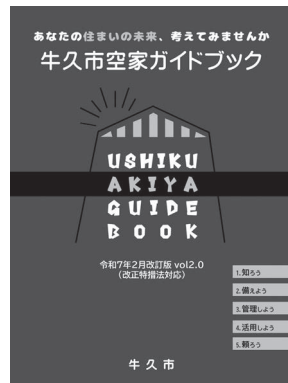
質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。

質問 空家・空地バンクに登録した所有者や購入等利用者に対する補助金制度導入については。



質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

答弁 慎重に検討を重ねていく。

答弁 (建設部長) 現在の効果を鑑みると、直ちにに取り組む状況ではない。

教師による児童生徒への性犯罪・性暴力対策

質問 学校での対策は。

答弁 (教育委員会次長) 盗撮に關しては、安全点検で不審なカメラが設置されていないか点検している。また、コンプライアンス研修を行うなどしている。

質問 教育委員会としての対策は。

答弁 管理職向け、全教職員向けに不祥事根絶について指導している。また、生徒向けに「スタンバイ」というアプリを導入し、教育支援課に直接相談や報告ができるシステムを構築している。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

答弁 慎重に検討を重ねていく。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。

質問 性犯罪・性暴力対策として防犯カメラを設置する考えは。





磯山 和男 議員



## 旧奥野小学校の利活用の現状は

答弁) 次長級職員で部局横断により議論を重ねている

**質問** 令和7年度中に方向を決めるとされているが。

**答弁** (経営企画部長) 民間事業者の意向、これまでの地域からの意見、更に都市計画法上の制約等を踏まえ検討し、改めて地域の意見も伺い、令和7年度中に方向性を定める。

### 要配慮者（障がい者及び支援を要する高齢者等）の災害時の避難

**質問** 福祉避難所の運営の仕方と訓練の状況は。

**答弁** (市長) 運営は、保健福祉部及び社会福祉協議会の担当職員を配置し、ケアマネージャーや保健師等の協力も得る。訓練は、福祉避難所運営ガイドラインを状況に合う運営マニュアルへと見直し、避難所従事職員による開設訓練ができるよう進める。

**質問** 避難行動能力向上のために行っていることは。

**答弁** (市民部次長) 市では、避難行動要支援者名簿を作成

し、本人の同意を得て情報に関係機関等へ公表し、努力義務として、その方の避難計画を作成することとしている。

今後は、要配慮者支援に関する情報も積極的に発信するとともに、名簿の公表の同意率を高め、個別避難計画作成に対する理解促進を図る。

**質問** 協定外の高齢者福祉施設でも、災害時の受け入れ協力の考えがあるとのことだが。

**答弁** (保健福祉部次長) 現在、協定福祉避難所は市内3か所の特別養護老人ホームである。要配慮者が、特性毎に馴染みやすい環境の施設や、デイサービス等で利用する施設に避難することで、適切な支援を受けることができる。今後、ほかの高齢者施設等にも協定の締結を進める。



新たな活動の場を待つ旧奥野小学校



池辺 己実夫 議員



## 牛久シャトーの再生に向けた取り組みは

答弁) 民間活力の活用により、観光振興を推進する

### 牛久シャトーの再生計画

**質問** 牛久市文化観光公園牛久シャトーの設置及び管理に関する条例制定と指定管理者制度導入の目的は。

**答弁** (環境経済部次長) 条例を制定することにより、牛久シャトーを「市の施設」として位置づけ、管理運営することになる。これにより、施設の管理・運営にかかる枠組みが制度として明確になり、市の責任と役割が整理されることで、安定的な牛久シャトーの運営が可能になると認識している。

**質問** 牛久シャトー(株)の再生に向けた取り組みは。

**答弁** (環境経済部次長) 民間他社の活力を活用するため、来年以降に牛久シャトー(株)のパートナー企業を公募予定である。今後は、未来創造課や観光協会との連携を強化し、牛久シャトーを活用した観光振興を推進していく。

### 牛久都市開発(株)による償還計画の見直し

**質問** 償還計画の見直しに至った経緯は。

**答弁** (環境経済部次長) エスカード牛久ビル4階が長期にわたり空き床となっていることから、当初想定の手料を得られない状況が続いている。このままでは、今年度末に経営に必要な最低限の現金が不足する恐れがあり、償還計画の見直しに至った。

**質問** 今後の計画的償還のためのテナント誘致策は。

**答弁** (市長) 「特定中心市街地事業所開設等補助金制度」により、3階に(株)スタートラインの進出が決定した。この成功事例を活かし、多様なニーズに対応した誘致活動など、空き床解消に向けて全力で取り組んでいく。



## 親子特区!!うしくの方向性を伺う

藤田 尚美 議員



答弁) 親子が共に育ちあえるまちを目指していく



**質問** 親子特区!!うしくを発信することに至った経緯は。

**答弁** (市長公室長) 市ならではの強みを親子とひもづけし親子施策が充実した新たな独自性を打ち出し、子育て世帯を中心にした移住、定住を促す新たなブランディングをスタートした。

**質問** 親子が共に育ちあえるまちとは。

**答弁** 親子が共に安心して暮らすことができ、子育てに適した環境を整備し、親子で一緒に成長できるまちを目指していく。

**質問** 今後の周知方法は。

**答弁** 親子に関する取組を周知しながら、「親子といえは牛久」と認識されるようなブランドイメージの定着と、子育て世帯を中心とした移住者が増えることを目指していく。

## 外国籍児童生徒への支援

**質問** 日本語指導が必要な児童生徒への支援の取り組みと課題は。

**答弁** (教育部長) 市内小中学校及び義務教育学校における児童生徒は110名が在籍。

日本語指導が必要な子どもへの支援は、牛久第二小学校に日本語指導教室が設置され、日本語学習に加えて教科学習の支援をしている。

それ以外の学校についてはSAや通訳サポーターが支援をしている。10月からは訪問型家庭教育支援事業として支援員を学校に派遣し支援体制を構築。課題は人的支援を行う人材の不足。

**質問** 外国籍児童生徒の家庭への支援は。

**答弁** 今年度は、学習面のみならず、生活面に関する情報も伝えていくための「暮らしの相談会」を実施。

## 外国籍の子どもへの日本語指導は

山本 伸子 議員



答弁) 指導が十分に行き届いているとは言えない

**質問** 外国籍の児童生徒への日本語指導の状況は。

**答弁** (教育委員会次長) 日本語指導教室がある牛久第二小学校では担当教員が日本語学習・教科学習を行い、その他の学校ではスクールアシスタントや通訳サポーターが支援に入っているが、十分に日本語の指導が行き届いているとは言えない。

**質問** 小学生では基礎的な日本語の習得、中学生では学習言葉が不足していると言われる。国際交流協会で行っている日本語教室や放課後かっぱ塾などで日本語指導はできないか。

**答弁** (市民部次長) 国際交流協会の日本語ボランティア講師は成人を対象としており、放課後かっぱ塾は児童生徒の自主的な学びの場で指導員は補助員としてサポートしている。



国際交流協会の日本語教室では、マンツーマンで指導を行っている

助として見守りを行っている状況だ。

今後、教育委員会と市長部局を含めた協議の場や学校運営協議会などで支援ができれば検討していく。

## 障がい者との共生社会とは

**質問** 障がいのある人が生活するグループホームの現状は。

**答弁** (保健福祉部長) 市内には43か所あり、住まいの場として世話人や生活支援員が支援を行っている。

**質問** 利用者と地域との関係づくり、「地域連携推進会議」の役割は重要だがどのような状況か。

**答弁** 地域の関係者や利用者、福祉関係者、市職員が施設の見学や運営状況などを通して意見交換をする場として現在6事業者で開催されている。利用者が地域でよりよい生活を送るためにも、会議の開催をすべての事業者に働きかけていく。



甲斐 徳之助 議員

## 物価高騰に対する本市の対策は？



答弁) 検討している



**質問** 多くの市民より相談が多い本市の物価高騰対策は、重点支援交付金を含めた活用

の施策メニューは、至急、補正予算を組み臨時議会を開き対応するか。

**答弁** (市長) 検討している。額が決まり次第至急行う。

**質問** 交付金に上積み予算を組み全市民に行き渡る事業を行うか。

**答弁** 検討している。

**質問** 交付金の活用に商品券などの選択をした場合、以前から提案している電子化の活用が、スピード感が良いと思うが、その後の進捗状況は。

**答弁** 事業者のなじみが薄く進んでいない。

### 公用車の入札

**質問** 公用車の入札について質問。予定価格はどう決めているか。

**答弁** (総務部次長) 額に応じて数社見積をとっている。

**質問** 積算に参加している事業者が落札できない事実を把握しているか。またその原因は。

**答弁** 把握していない。仕入れの違いでは。

**質問** 新古車や中古車など又は同等品等の対応は。

**答弁** 行わない。

**質問** 車検やメンテナンス等も入札を行っているか

**答弁** 入札ではない。都度発注している。

**質問** 最低制限価格の設定を物販でも行おうべきと考えるが。

**答弁** 今はない。国より動向調査の指示はあった。



黒木 のぶ子 議員

## 消防署庁舎の仮設建設について



答弁) 仮設庁舎は中央生涯学習センター緑地に計画

**質問** 消防庁舎の老朽化と手狭との理由から、仮設庁舎を中央生涯学習センターと駐車場の間の緑地帯に建てると説明を受けたが、決定しているのか。

**答弁** (市民部次長) 仮設の消防庁舎を建て、現在の牛久消防署の場所に新しい消防施設を建設する計画である。

**質問** 建設予定場所は病院の目の前、また生涯学習センター駐車場に隣接することから、病院や駐車場利用者への配慮は。

**答弁** 消防車や救急車は赤色灯を回し、サイレンを鳴らすことで緊急車両とみなされる。予定地近くの介護施設からは、サイレン等について配慮してほしいとの依頼も受けており、

稲広本部には、可能な限り配慮をお願いしていく。

**質問** 税金の無駄遣いでは。設置場所の条件に市街地をカバーできる場所とあるが、市街地区域に隣接した市街地調整区域は検討したのか。

**答弁** 条件に合致する候補地の4か所は市街地調整区域だった。市街地区域に限らず検討を行った。

**質問** 8年度予算に計上しないとのことだが、建設資材や人件費が高騰する中で、仮設庁舎建設に付随する工事も含め、先送りとなれば予算算以上の増額となると考える。しかも仮設庁舎建設に起債はできないとのことだが、想定される補助金や交付金はあるのか。

**答弁** 仮設庁舎であるので起債は難しく、活用できるものを積極的に検討する。





## 小学校の給食無償化はどうか

高嶋 基樹 議員



答弁) 完全無償化できるように検討していく



学校給食「和食の日」に合わせ「うしく河童大根生産者と食育に関する総合授業」の風景

**質問** 国は小学校給食費の無償化を令和8年度からの実現を目指し検討しているが、現在の内容で進んだ場合、本市への影響と対応策はどうか。

**答弁** (教育委員会次長) 現状一人当たりの給食費月額額は4320円。実際の給食材料費は、この給食費だけでは賄えず月額5620円かかっている。この差額分1300円を物価高騰分として市が負担している。平成26年4月に現在の給食費の額に値上げしてからこれまで、保護者の経済的負担を軽減するため、給食費との差額は市が負担している。仮に、報道されているように国の補助が一人当たり月額4700円となった場合、

差額の920円は市の負担となり、現在の児童数で積算すると、市の負担は約4300万円となる。

国の制度設計については未確定であるが、市の重点プロジェクトのひとつである「子育て全力応援プロジェクト」の中で学校給食費の無償化の拡充について推進していくこととしており、仮に全額国費での実施とならなかった場合でも小学生の給食費については完全無償化できるように検討していく。

**質問** 結果的に市の負担は軽減されるのか。

**答弁** はい。今年度の物価高騰分として市の支出は約5300万円。国の補助により市の負担は約1000万円減る計算であり、今までよりも負担は軽減される見込みである。

(掲載以外の質問事項)  
○親子特区うしく・音響設備のアップデートについて

## 登下校に安全指導員を配置する考えは

水梨 伸晃 議員



答弁) 見守り活動者不足への解決策として調査する

**質問** 共働き家庭の増加や地域の高齢化が進む中で、従来の保護者・地域による見守り体制だけでは限界が来ていると考える。見守りによる安全確保が、家庭や地域の努力だけに任されている現状は望ましいとは言えない。本市における登下校の安全対策の現状を伺う。

**答弁** (教育部長) 地域の温かい支えにより、交通安全意識の向上など良い効果も確認している。一方で、地域によっては保護者から、少子化の影響で登校班の維持が困難になっていることや地域住民の多くが高齢者で、登下校時間帯に外出して見守ることが難しいケースなど、今後の見守り活動に不安を抱える意見も把握している。課題は、各学校の学校運営協議会等を通じ、引き続き協議を重ねたいと考えている。

**質問** 他市の制度を参考に、牛久市でも市主導で安全指導員等を配置する仕組み作りを

検討するべきではないか。

**答弁** 市民の意見や各校の状況を見極め、慎重に調査研究していく。

**質問** 人的見守りとICTの併用が安全性の向上につながるかと考えるが、ICTとの組み合わせによる登下校の安全確保を伺う。

### ICT教育の推進は

**質問** 1人1台端末が整備されたが、家庭にWi-Fi環境がなければ宿題や自主学習ができないと思うがどうか。

**答弁** 全体の99%の家庭がWi-Fi環境整備済み。家庭での環境整備をお願いする通知を送付した。





伊藤 裕一 議員

## 新しい農業の普及促進を



答弁) ドローン活用環境整備に努める

**質問** 物価高騰の根本対策として、ドローン活用、稲の種を直接田んぼにまく直播栽培、コメを二度収穫する再生二期作等、新しい農業の普及促進による効率化を図ってはどうか。

**答弁** (環境経済部次長) ド

ローンの効果は高いと認識しており、活用環境整備に努める。直播栽培は検証が必要、再生二

期作は試験段階であり積極的に普及促進を行う考えはない。



### 5歳児健診について

**質問** 子ども家庭庁が

2028年度までに完全実施を目指す5歳児健診について、健診に必要な人材確保が課題であるが、本市の取り組み状

況は。

**答弁** (保健福祉部こども局

長) 医師については、医療機関等に5歳児健診に協力が可能か11月に調査した。また、こどもの未来応援センター所属の専門職の確保を検討している。

**質問** 発達等に課題があると

考えられる子どもを対象に診察する二段階方式、事前に保育園から子どもの情報を得るなどの工夫を行い、健診を実施する考えはあるか。

**答弁** 二段階方式を実施する

場合には、医師会等とより詳細な協議を行う必要がある。

### 地域手当見直しについて

**質問** 公務員の地域手当見直しに伴う介護、保育、障害福祉への報酬等の影響の情報把握状況は。

**答弁** (保健福祉部次長) 各分野における国の審議会等にて決定する。国の動向を注視する。

伊藤 知子 議員

## 「プレコンセプションケア」の推進を



答弁) 国や県等の動向を踏まえた取り組みが必要

**質問** プレコンセプションケアの基本的な考え方は。

**答弁** (保健福祉部こども局

長) 性別を問わず、適切な時期に性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含むライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行う概念である。

**質問** 現状の取り組みは。

**答弁** 妊娠・出産に関する相談や教室、不育症治療費や不妊治療費の助成、生活習慣改善の健康相談、禁煙外来費助成、胸部・子宮・乳がん検診を併せた30代スタート健診、HPVワクチン接種事業等を実施。

**質問** 若年層への普及啓発や学習機会の創出は。

**答弁** プレコンセプションケアの記載もある、「女性のからだサポートブック」を今年度の二十歳のつどいで希望者に配布する予定であり、学習機会は、市としてできることを検討する。

**質問** 相談体制や健診の強化

については。

**答弁** 主な相談窓口は健康づくり推進課及びこどもの未来応援センターで、直通電話「すまいる」も整備している。健診の強化は、動向を注視・調査していく。



「女性のからだサポートブック」は、県のHPIにも掲載

### 「おひとりさま」でも安心のまちに

**質問** 企業や団体との協働による見守りの仕組みは。

**答弁** (保健福祉部次長) 35の事業者と協定を結び、見守り体制を構築している。

**質問** 誰も孤立することのないまちへ、市の方針は。

**答弁** (市長) 行政、企業、地域団体、ボランティア、そして市民一人一人がそれぞれの役割を持って、「無理なく程よく助け合える地域づくり」を進めていく。

## 最期まで自分らしくいられるために

須藤 京子 議員



答弁) 個人の死生観や尊厳が尊重されるよう支援

質問 「多死社会」へ突入し、診療を行っている。

様々な問題が浮上している。国は入院病床の機能分化・連携を進めているが、市の医療提供体制は。

答弁 (保健福祉部次長) 県は、国の示す地域医療構想の方法に基づき協議している。市としては医療機能の分化により市民生活に影響が出ないよう情報収集をしていく。

質問 診療所等のDX化推進は経営に影響しないか。

答弁 県は医療機関への具体的支援策は未実施。市は現状把握に努める。

質問 市民が地域で最期まで暮らすためには、介護と医療の連携が肝要だ。地域ケアシステムの事態は。

答弁 多職種連携がスムーズにいくよう医師会、薬剤師会、ケアマネや県と連携し、勉強会を開催する等、連携体制構築に努めている。

質問 在宅での看取りを支える医療体制の整備は。

答弁 複数の医療機関が訪問

質問 多死社会が突きつけるのは終末期をどう自分らしく生きるのか、でもある。厚労省は「もしもの時」に備え、予め自身が望む医療やケアについて家族や医療ケアチーム等と話し合い、共有する「人生会議」を進めている。横須賀市では「エンディングサポートプラン」「私の終活登録事業」を実施しているが、市の考えは。

答弁 (市長) 市は「人生会議」と銘打ってはいないが、意思決定支援の取り組みを各所で実施している。

答弁 (保健福祉部次長) 市も死生観や尊厳、本人の意思決定が尊重されることが大切と考えている。「わたしの手帳」を更に充実させていく。



横須賀市を視察した教育福祉  
常任委員会

## 通学路の危険箇所と見守りについて

加藤 政之 議員



答弁) 様々な関係機関と協力し対策をしていく

質問 小中学校の通学路の危険箇所の把握と対策について伺う。

答弁 (教育長) 毎年度、学校から危険箇所について意見が

上がってきていて、現状把握に努めている。対策としては、

学校をはじめ、庁内各課、竜ヶ崎工事事務所や常陸河川国道事務所、牛久警察署など関係機関が連携し、現地調査を実施した上で対応策を協議し、

歩行者用信号の青時間延長、交差点への車止め設置など、様々な安全対策を実施している。

質問 通学路において自動車等の速度超過を抑える対策について伺う。

答弁 (市長) 現場の状況を十分に考慮した上で、標識や狭

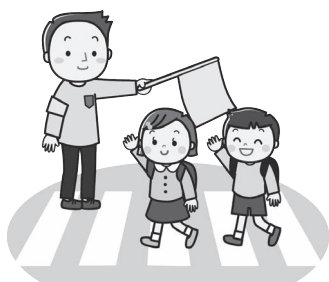
窄などの設置、ハンプの設置、また、視覚的・心理的な対策として、車道のカラー舗装、

運転者へ注意喚起を促す路面標示など様々な対策を実施している。

質問 小学校の登下校時の立哨当番を含めた見守りについて、保護者や防犯ボランティアの負担が増加している一部地域もあるが、市の見解を伺う。

答弁 (教育長) 立哨当番を含めた見守りの、保護者や防犯ボランティアの負担が増加していることは把握している。

今後とも保護者と地域が円滑に連携しながら、それぞれの地域性に見合った見守り体制が構築できるよう、学校運営協議会などを活用し協議の場を提供していく。







杉森 弘之 議員

## 多文化共生と外国人材の確保・支援



答弁) 牛久市としても重要な課題と認識している

**質問** 2023年10月時点で、在留外国人数は322万人、国内人口の2.6%に相当し、20年前の約2倍に増えている。

OECDでは11.5%

欧米のOECD諸国に居住する外国人は1億6千万人を超え、人口の11.5%を占めている。

茨城県でも2024年12月現在で約10万人の在留外国人が居住している。茨城県全人口に占める割合は3.65%と、全国平均よりも1.5倍の高さだが、牛久市では。

**答弁 (市民部長)** 本市の総人口及び外国人の登録者数は別表の通りで、外国人登録者数の占める割合は約2.3%となっている。

### 牛久市の戦略的課題として

**質問** 多文化共生と外国人材の確保・支援は、牛久市の少子高齢化、人口減少問題解決のために、不可欠の課題である。そして、人口問題だけでなく、

今後の牛久市の経済・医療・介護等の社会的基盤を拡大・充実させる上で、外国人材を抜きにして考えられない。すでに欧米のOECD諸国では、医師の約4分の1、看護師の約6分の1が外国人材によって担われている。

### 牛久市の戦略的な課題として

総合計画にも「多文化共生推進と外国人材の確保・支援」をきちんと柱立てし、具体化するとともに、対外的にも積極的にアピールしていくことが、必要ではないか。

**答弁 (市長)** 人口減少が続く日本において外国人材の活躍は予想され、本市においても外国の方を含む多様な人材の確保は重要な課題である。と認識している。

牛久市の人口と外国人数			
年	牛久市人口	外国人数	割合%
1995年	66,375人	391人	0.6%
2010年	80,403人	1,497人	1.9%
2025年	83,606人	1,953人	2.3%

牛久市の人口と外国人数 議員本人による作成



出澤 大 議員

## うしタクの利用者数は？



答弁) 令和6年度の利用者数は9,497人である。

**質問** 視察先の富岡市（人口約4.5万人）の「愛タク」は、令和6年度の重複を除く利用者数が約2.9万人で人口比約64%。一方、本市の「うしタク」は重複を除く利用者数は約6,600人となり、人口比約8%と、実に8倍の差になる。また、利用者1人あたりのコストも、愛タク約1700円に対し、うしタクは約4300円と約2.5倍。なぜこれほどの大きな差が生じているのか？

**答弁 (経営企画部次長)** 富岡市の愛タクと本市のうしタクは、運行形態（ポイント問V S ドア・ツー・ドア）や管

うしタク（牛久市）と愛タク（富岡市）のデマンドタクシーの比較		
	うしタク(牛久市)	愛タク(富岡市)
人口	約83,000人	約45,000人
利用地域	市内全域（ドア・ツー・ドア）	市内全域（約463か所停留所ベース）
利用者数(令和6年度)	9,497人	41,299人
推定されるユニークユーザー数 (重複を除く利用者数)	約6,700人	約29,000人
運用台数	3台	6台
利用率 (人口あたり利用者)	約8.1%	約64.4%
乗客1人あたりの 運行コスト(※推定)	約4300円	約1700円

※この比較表は私（出澤 大）の一般質問の内容を元に自作したものです。  
※1人あたりの運行コストは車両の借り上げ料やシステム代（システム構築費、システムレンタル料、運用・保守費用）や人件費、その他の経費等を利用者人数で割ったもの。

**質問** 愛タクの成功事例を細かく分析し、うしタクの抜本的な見直しを考えるつもりはあるか？

**答弁** 今後はうしタクの運行効率を向上させることについては必須であると考えている。

### (掲載以外の質問事項)

- 牛久シャトルについて
- 企業誘致について

## 若者のライフステージの援助。環境向上策は？ 大森 和夫 議員



答弁) 調査検討していく

### 若者支援策について

**質問** 就労・定住支援策の向上は。

**答弁** (環境経済部長) 県の事業PRを拡大拡散する。

**質問** 婚活支援お見合いパーティ、結婚相談については。

**答弁** (市民部次長) 県の事業PRを拡大支援拡散する。

**質問** 若者・新家庭家賃・購入・引越費補助が県と県内23自治体で助成しているが市の取り組みは。

**答弁** (経営企画部次長) 効果を検討していく。

**質問** 麻酔の無痛分娩費用補助が取手市と大子町で始まったが牛久市の予定は。

**答弁** (保険福祉部子ども局長) 調査研究をしていく。



### 環境施策について

**質問** ソーラーパネル・蓄電池普及支援策の状況は他市町村より遅れているが。

**答弁** (環境経済部次長) 蓄電池補助のみ。調査継続する。

### 公用車の環境対策と市民サポート

**質問** 雨水タンク・ゴミ処理器の現況支援策は。

**答弁** (市長) ごみ処理機累計7417基助成した。継続していく。

**質問** 公用車の現況と環境配慮型の状況・リース契約の導入は。

**答弁** (総務部次長) 公用車144台、内電気6台、ハイブリッド9台。今年度ハイブリッド5台購入予定。購入のみ。リースは今後検討していく。

**質問** 市民の車買換え補助で他市は電気自動車の補助があるが。

**答弁** 調査研究していく。

## 牛久シャトーに対する市の方向性は 遠藤 憲子 議員



答弁) 再生に向けて収益モデルの構築を目指す

**質問** 指定管理者制度導入により牛久シャトー(株)と市の契約は。市負担の施設維持管理と植栽管理の想定は。

**答弁** (環境経済部次長) 指定管理者に指定されれば契約は解除に。維持管理は経費の算出等により適切な管理料を決定する。

**質問** ワイン醸造に必要な支援とは。

**答弁** ワイン醸造は日本遺産の象徴的な要素の1つで、シャトー自ら取り組むことが必要。又、市の再生計画に向けた支援では、ワインのPR、販路拡大等の向上に繋げていく。

**質問** 経営改善の方向性で年間2千万円の利益確保に対する市の考えは。

**答弁** (市長) 民間活力等を積極的に取り入れ、収益モデルの構築を目指す。年間2千万円の目標は「達成できるかどうか」ではなく再生に向けた重要なミッションだ。

### 市民サービスの充実を

**質問** 市バス使用時に燃料代

**答弁** 市バス使用時に燃料代

**答弁** 市バス使用時に燃料代

**答弁** 市バス使用時に燃料代

**答弁** 市バス使用時に燃料代

**答弁** 市バス使用時に燃料代

の負担が必要となったが導入経緯は。

**答弁** (総務部長) 燃料価格の高騰から運行規程を見直し、実費相当分の負担をお願いした。今後、利用距離等を含め検証していく。

**質問** 住井する文学館の開館日と時間変更の経緯は。

**答弁** (環境経済部次長) 営利目的の施設ではないが維持管理費が増加。週4日の開館で持続可能な運営が可能。

### 身寄りのない高齢者支援は

**質問** 1人暮らしと共に、身寄りのない高齢者の増加が今後も予想されるが市の考えは。

**答弁** (保健福祉部次長) 地域包括センター等で民間を含め身元保証会社の紹介や成年後見制度の案内をしている。



## 議案の審議結果

凡例: ○…賛成、×…反対  
小松崎 伸 議長(政和クラブ)は採決には加わっておりません

### 賛成全員で可決または認定等された議案等

議案番号	議 案 等 名
【第4回定例会】	
70号	牛久市職員の旅費に関する条例について
72号	牛久市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
73号	牛久市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例について
75号	牛久市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
78号	牛久市下水道条例の一部を改正する条例について
80号	令和7年度牛久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
81号	令和7年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
82号	令和7年度牛久市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
83号	令和7年度牛久市下水道事業会計補正予算(第3号)
84号	損害賠償の額を定めることについて
85号	指定管理者の指定について
議員提出議案第2号	牛久市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
【第3回臨時会】	
86号	牛久市学校給食費条例の一部を改正する条例について
87号	令和7年度牛久市一般会計補正予算(第7号)

### 会派構成

市民クラブ	政和クラブ※	公明党	日本共産党	日本維新の会	うしく未来プロジェクト	無会派
黒木 のぶ子 須藤 京子 杉森 弘之 出澤 大	小松崎 伸 石原 幸雄 高嶋 基樹	藤田 尚美 鈴木 勝利 伊藤 知子	遠藤 憲子 大森 和夫	伊藤 裕一 水梨 伸晃	塚原 正彦 柳井 哲也	山本 伸子 池辺 己夫 池辺 徳之助 甲斐 和男 磯山 加藤 政之

### 賛否が分かれた議案等

議案番号	議 案 等 名	市民クラブ	政和クラブ	公明党	日本維新の会	日本共産党	うしく未来プロジェクト	無会派(山本)	無会派(池辺)	無会派(甲斐)	無会派(磯山)	無会派(加藤)	議決結果
議案 69号	牛久市文化観光公園牛久シャトーの設置及び管理に関する条例について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
議案 71号	牛久市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 74号	牛久市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
議案 76号	牛久市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
議案 77号	牛久市乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
議案 79号	令和7年度牛久市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
意見書 案第15号	ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書の提出について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
意見書 案第16号	介護保険制度の抜本的改善及び介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可決

## 第3回臨時会より

### 小学校給食を無償化

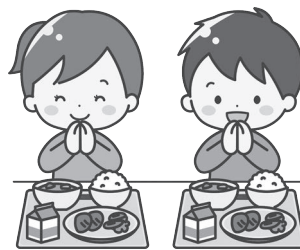
国の交付金を活用し、令和8年1月から令和8年3月分までの学校給食費を無償とする。

### 対象者

市立小学校及び市立義務教育学校前期課程の児童(3945人)

### 支援単価

児童一人当たり  
月額4320円



### 全市民に商品券を配布

国の交付金を活用し、市民生活支援と市内経済の活性化を両立させるため、市内限定で利用できる「商品券」を全市民に配布する。

### 対象者

令和8年2月1日現在、牛久市に住民登録がある方

### 使用期間

令和8年4月1日～

9月30日

### 金額

一人あたり5000円



## 子どもたちの健やかな成長のため 応援手当を支給

### 対象児童

0歳から高校3年生までの児童手当支給対象児童(平成19年4月2日から令和8年3月31日までに出生した児童)

### 支給単価

子ども一人当たり  
2万円

### (その他)

物価高騰の影響を受けた介護施設・障害者福祉施設・医療機関・民間保育園・民間幼稚園・民間児童クラブ・認定農業者等の事業者に対し、補助金を交付する。

### 討論より

■商品券の配布について、利用店舗が商工会の加盟事業者に限定することについては、公平性や市民の利便性の観点から懸念が残るため柔軟な改善を求める。しかし、補正予算全体の緊急性と、総合的な市民の利益を考慮し賛成する。

■重点支援交付金を活用した本市独自の物価高騰対策に関連した内容が取りまとめられており、各議案を可決成立させ、いち早い物価高騰対策に取り組む必要があると考え、賛成する。



## 総務企画常任委員会

牛久市職員の給与について、国の  
人事院勧告に準じて、給料月額を  
3・3％、期末勤勉手当の支給月数  
を4・65％引き上げる改正

**問** 改正により前年度と比較していく  
ら増額になるのか。

**答** 概算で1億2千万円の増額となる。  
内訳は給料が7300万円、職員  
手当が4100万円、共済費が  
580万円である。

## 教育福祉常任委員会

ひきこもりのすべての世代を対  
象に全国どこでも必要な支援が  
受けられるように、必要な施策  
や支援体制の明文化を

**意見書案第15号** ひきこもりの高齢化

や長期化が進む中、現行の法整  
備では支援対象者が限定的とな  
っており支援を受けることが  
できないケースが生じているこ  
とから、国に対して必要な施策  
や支援体制の明文化を要望する  
もの。

介護保険制度について、保障  
される社会の実現を目指し、  
財政支援の強化を

**意見書案第16号** 利用料の負担が重く、

必要なサービスを受けられない  
高齢者が増加しており、介護を  
理由に退職する家族も高止まり  
になっている。介護の現場も介  
護報酬が低水準のため人材不足  
が深刻であるため、国に対し財  
政支援の強化を要望するもの。



## 環境建設常任委員会

**議員提出議案**

牛久市太陽光発電設備の適正  
な設置及び管理に関する条例の  
一部を改正する条例

**目的**

条例施行から1年が経過し、令和6  
年4月には再生再エネ特措法が改正さ  
れ、説明会の義務化など内容に差異が

生じていることから一部改正を行うもの。

**主な改正点**

◆適用範囲を10kW以上に引き下げ

発電出力50kW、事業区域1000  
平方メートルのいずれかに該当するも  
のだったものを、土地の面積に関わら  
ず10kW以上のものは適用となる。

◆抑制区域の拡大

自然災害の発生が危惧される区域、  
住宅地や学校の周辺、自然環境の保全  
地域など、設置抑制区域を拡大し明文  
化。抑制区域に設置事業を行わないよ  
う「協力を求めるもの」から「自粛す  
るよう要請することができる」になる。

◆説明会の義務化

説明会を義務化することに加え、説  
明する地域住民の範囲についても、事  
業区域概ね100mから300mに拡  
大する。

**議員提出議案の詳しい内容は、ホー  
ムページをご覧ください。**

## 予算常任委員会

令和7年度一般会計補正予算

牛久都市開発(株)への貸付金  
償還計画の見直しによる減額  
貸付金元利収入△1890万円

**内容** 平成31年度に牛久都市開発(株)に

貸付を行った4億円の償還について、  
償還計画の見直しを行い、本年度の償  
還額を減額する。見直し内容は、償還  
期間を15年間から17年間に2年間延長  
し、令和7年度から10年度までの4年  
間の元金償還額を1400万円とする。

**討論より**

■計画的に返済するという条件で  
(※) 附帯決議をつけて議会で承認さ  
れた経緯があるにもかかわらず、  
非常識的な経営指標を希望的観測  
で述べており、償還期間を2年繰  
り延べたとしても返済は難しいと  
考えることから反対である。

(※) 「平成30年度牛久市一般会計補  
正予算(第4号)」に対する附帯決議

4億円の貸付に際して、市民の貴重  
な税金を貸し付けることを踏まえ、貸  
付金の回収を確実にするために、担保  
や利子等を明記した貸付要綱を策定し  
市議会に提示することや、牛久都市開  
発(株)の決算報告書を毎年市議会に開示  
することを求めている。

## 委員会採決の結果

(委員長を除く委員9人)  
賛成7人・反対2人

## 常任委員会審査報告

「終活支援事業について」神奈川県横須賀市視察(10/15)

牛久市の課題

牛久市も一人暮らしの高齢者が増加している。安心して最期を迎えることができるよう市としてどのような支援ができるのか。

横須賀市の取り組み

身寄りのない低所得者の方が葬儀社と生前契約を結び、本人の信教に沿った葬儀・納骨をしてもらうことができる「エンディングサポート事業」と、大切な終活情報を市に登録してもらい、万が一の時に必要な情報を相手先に教える「わたしの終活登録事業」がある。



「庁舎建設事業について」

静岡県焼津市視察(10/30)

牛久市の課題

昭和49年に建築された市役所庁舎は、専門家による調査でも劣化が指摘されており、今後の庁舎の在り方について検討が必要となっている。

焼津市の取り組み

建設事業費は、約106億円で財源内訳は、庁舎建設基金約28億円、起債77億円、一般財源81万円。起債は合併推進債で事業費に対し充当率90%、元利償還額の40%が交付税措置される有利なものを活用。高校生を含む市民委員によりワークショップを開催し、市民の意見を取り入れた使いやすい庁舎を実現した。



議会 TOPICS

「ごみ処理の集約化と広域化について」

静岡県伊豆市視察(10/9)

牛久市の課題

牛久クリーンセンターは1999年度より稼働。2019年に15年の延命工事を行っている。国は安定的で効率的なごみ処理体制の構築を推進、県は施設の集約化例を示している。老朽化している施設を単独で更新するのか、または広域化するのか、判断が必要になる。

伊豆市の取り組み

2市による広域化を実施。施設の維持管理の経費の削減、運転管理面での効率化が図られているが、集約化による2市のごみ処理手数料の差異やごみ搬入中継施設整備の必要性などの課題がある。



「愛タク(乗合タクシー)について」

群馬県富岡市視察(10/20)

牛久市の課題

牛久市には「かっぱ号」「うしタク」「ライドシェア」の公共交通があるが、路線や時間、使い勝手など市民から多くの意見がある。ニーズと現状の乖離をどう解消していくのか。

富岡市の取り組み

デマンド型タクシー。運賃は、市内在住、在学・在勤者は1乗車100円。7人乗りミニバンで平日は6台、土日祝日は4台で365日運行。主要な公共施設、スーパー、医療機関など463か所の乗降場所がある。電話、LINE、スマホから予約。スマホ予約に移行してもらうため、高齢者向けに無料スマホ教室を開催。



編集後記

今定例会に先立つ11月14日、議員全員協議会が開催され、執行部より市出資法人の今後の方向性が示されました。その内、耕作放棄地の解消を主目的に設立された牛久グリーンファームに関して今後の諸情勢から判断しても黒字化が見込めないの、一年後を目途に農業部門から撤退しBDF製造のみの会社として存続させたいとの説明がなされました。一方、令和6年のデータによれば市内の1170haの畑の内、289haが耕作放棄地であり、グリーンファームはその内の26haを借り受け耕作して来た訳であります。同社の農業部門からの撤退により当該26haの農地を含めて牛久市の今後の耕作放棄地の解消法を如何に確立するのが大きな課題となることから、市議会としても注視して参りたいと考えています。(石原)

広報常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 水梨 伸晃 |
| 副委員長 | 伊藤 知子 |
| 委員   | 石原 幸雄 |
|      | 大森 和夫 |
|      | 塚原 正彦 |
|      | 出澤 大  |
|      | 加藤 政之 |